



## 投資信託の販売会社における比較可能な共通KPIの公表について

### ～「お客さま本位」の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）に関する取組状況～

千葉銀行（頭取 佐久間 英利）は、2018年11月30日（金）、金融庁が公表した「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPIについて」に基づき、以下の3指標について2018年3月末時点の数値を公表しました。

- ①運用損益別顧客比率
- ②投資信託預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン
- ③投資信託預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン

当行は、昨年6月に「お客さま本位」の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）に関する方針を策定・公表し、全役職員が本方針に則った業務運営を徹底しています。また、こうした取組みをお客さまにもご確認いただけるよう、2017年度の取組状況をホームページに掲載しており、今回公表した3指標をこの取組状況に追加しています。

2018年3月末時点の共通KPI※（3指標）は別紙のとおりです。

なお、グループ会社のちばぎん証券株式会社（取締役社長 花島 恭一）につきましても、同日付で3指標の2018年3月末時点の数値を公表しております。

当行は、グループ役職員が一致団結して先進的なサービスで個人や中小企業をはじめとした地域のお客さまに、最高の満足と感動を提供する「リテール・ベストバンク」グループを創りあげてまいります。

※KPIとは、Key Performance Indicator の略で、企業の重要業績評価指標のこと。ここでは「お客さま本位」の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）の定着度合いを客観的に評価できるようにするための指標のことをいいます。

以 上

## 投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI

### ○投資信託運用損益別顧客比率

✓相場の影響もあり、2018年3月末時点で運用損益がプラスとなっているお客さまは全体の4割程度となっていますが〔図①〕、過去の売却や償還による実現損益を含めると5割以上のお客さまがプラスとなっています。〔図②〕

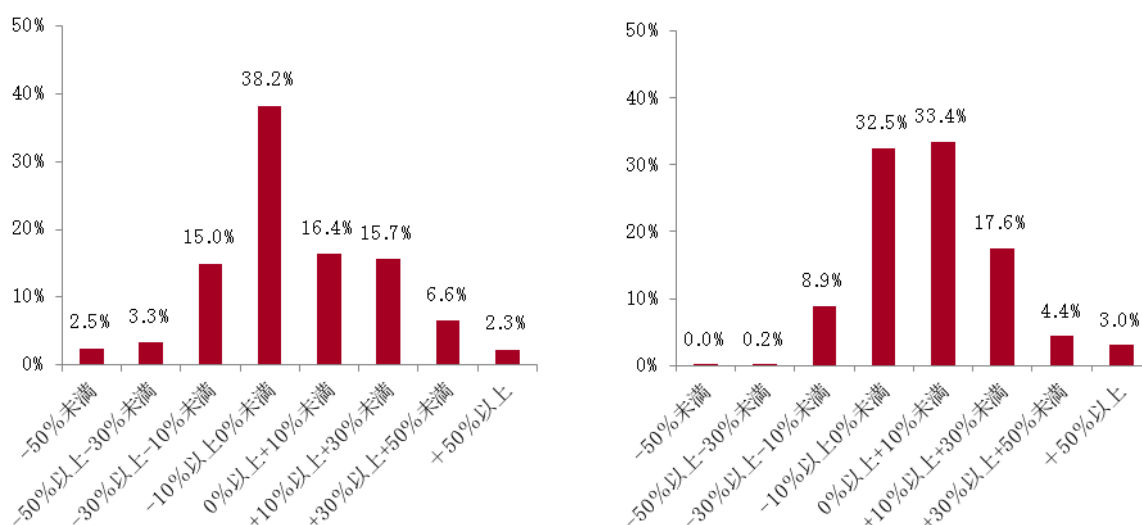
### ○投資信託預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン、リスク・リターン

✓残高上位20銘柄のうち、8割以上の銘柄でリターンがコストを上回っています。〔図③〕

✓残高上位20銘柄は、リスクとリターンのバランスがとれた投資信託が中心となっています。〔図④〕

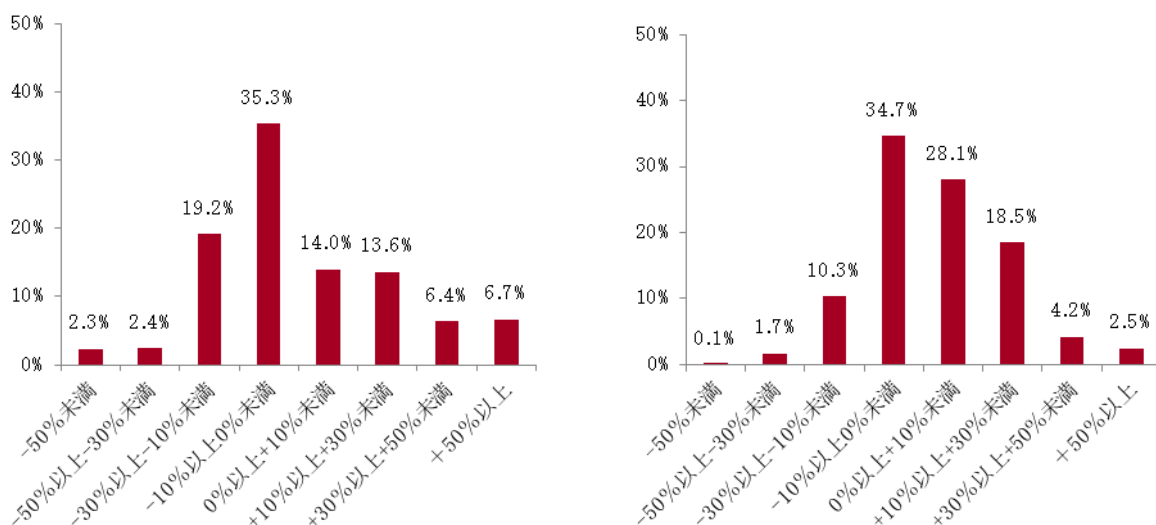
### 【千葉銀行】

〔図①〕 投資信託運用損益別顧客比率【共通KPI】 〔図②〕 実現損益を含む投資信託運用損益別顧客比率



### 【ちばぎん証券】

〔図①〕 投資信託運用損益別顧客比率【共通KPI】 〔図②〕 実現損益を含む投資信託運用損益別顧客比率

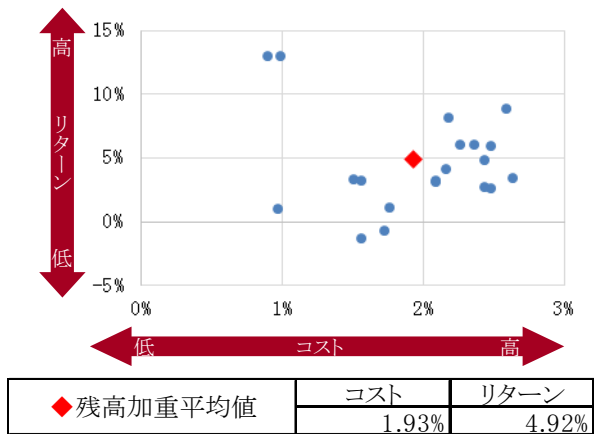


※2018年3月末時点。運用損益別顧客比率計算上の分母は〔図①〕時価評価額、〔図②〕累積買付額。

※〔図②〕2014年12月以降に売却または償還となった投資信託の実現損益が対象。

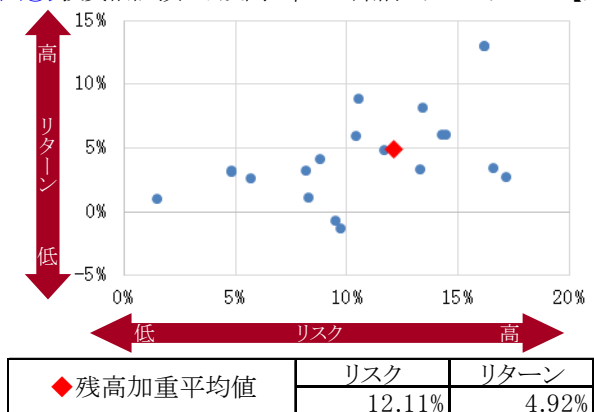
【千葉銀行】

【図③】投資信託預かり残高上位 20 銘柄のコスト・リターン【共通KPI】



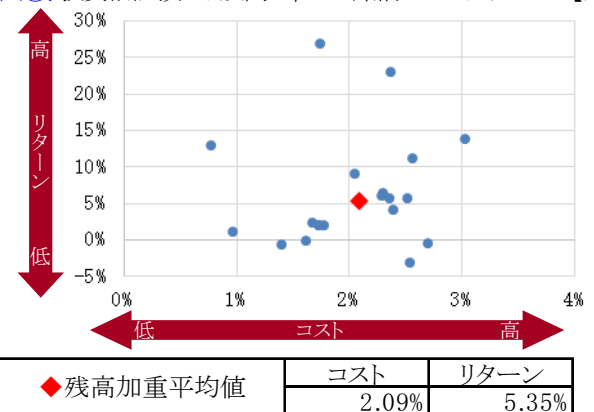
投資信託の預かり残高上位20銘柄	
1	ニッセイ-REITファンド(毎月決算型)
2	野村インド債券ファンド(毎月分配型)
3	ラサール・グローバルREITファンド(毎月分配型)
4	アムンディ・日経平均オープン
5	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型)
6	ニッセイ/パトナム・インカムオープン
7	LM・オーストラリア高配当株ファンド(毎月分配型)
8	インデックスファンド225
9	三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン
10	高金利先進国債券オープン(毎月分配型)
11	ファイン・ブレンド(毎月分配型)
12	マニユライフ・新グローバル配当株ファンド(毎月分配型)
13	高利回り社債オープン(毎月分配型)
14	ワールド・インカムオープン
15	高利回り社債オープン・為替ヘッジ(毎月分配型)
16	世界銀行債券ファンド(毎月分配型)
17	ピクテ新興国インカム株式ファンド(毎月決算型)
18	ファイン・ブレンド(資産成長型)
19	ダイワ日本国債ファンド(毎月分配型)
20	GW 7つの卵

【図④】投資信託預かり残高上位 20 銘柄のリスク・リターン【共通KPI】



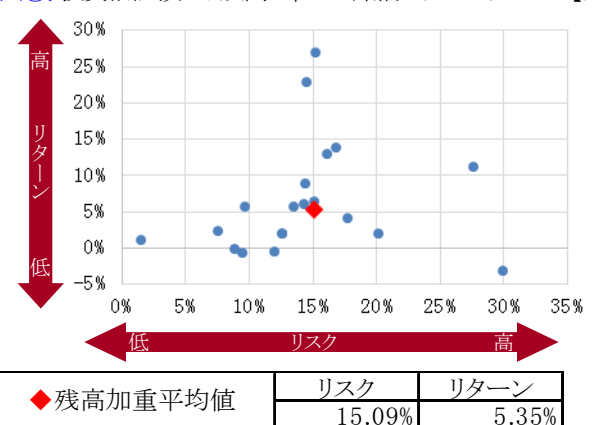
【ちばぎん証券】

【図③】投資信託預かり残高上位 20 銘柄のコスト・リターン【共通KPI】



投資信託の預かり残高上位20銘柄	
1	新光 US-REIT オープン
2	DIAM J-REITオープン(毎月決算コース)
3	野村インド債券ファンド(毎月分配型)
4	資源ファンド(株式と通貨)ブラジルリアル・コース
5	インデックスファンド225
6	イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド
7	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド
8	三井住友・アジア・オセアニア好配当株式オープン
9	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)
10	DIAM J-REITオープン(2カ月決算コース)
11	豪州高配当株ツインαファンド(毎月分配型)
12	三井住友・グローバル好配当株式オープン
13	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)
14	ダイワ日本国債ファンド(毎月分配型)
15	三井住友・米国ハイ・イールド債券・ブラジルリアルファンド
16	世界銀行債券ファンド(毎月分配型)
17	DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ(ブラジルリアルコース)
18	DIAM 国内株オープン
19	GSアジア・ハイ・イールド債券ファンド 米ドルコース
20	Jオープン (店頭・小型株)

【図④】投資信託預かり残高上位 20 銘柄のリスク・リターン【共通KPI】



※2018年3月末時点で設定期間5年以上のファンドのみに限った投資信託の預かり残高上位20銘柄。

※コスト:販売手数料率/5+信託報酬率、リスク:過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)、リターン:過去5年間のトータルリターン(年率換算)。